

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 17-12】2018年5月30日発行

横浜市中区桜木町3-9平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5654



「ウソつき」安倍政権退陣の声を大きく広げよう！！

安倍内閣は、過労死につながる残業代ゼロ法案である「高度プロフェッショナル制度」と「1カ月100時間の残業」まで容認する「働き方改革法案」と「カジノ法案」の成立をねらい、6月20日会期末の通常国会を延長しようとしています。裁量労働制のデータ偽装、森友学園の国有地売却をめぐる財務省公文書の改ざん、自衛隊の南スーダンとイラク派兵の日報の隠蔽、加計学園の「首相の意向」圧力、財務省事務次官のセクハラ問題など、次々と安倍政権の墮落と首相の関与が明らかになっています。

安倍首相の「ウソ」を守るために多くの役人が犯罪的行為に手を染め、命を絶ち、国権の最高機関で虚偽答弁を繰り返しています。もう「ウソつき」の安倍政権はご免です。安倍政権退陣を求めて、地域での宣伝・署名行動などを大きく広げましょう。

地域から安倍内閣退陣を求める行動を

6月15日を中心に、全県で安倍内閣退陣を求める宣伝署名行動を展開しよう。

国会包囲行動・神奈川国会行動に結集を

▶ 6.10 安倍内閣退陣・国会正門前行動

14:00～国会周辺

▶ 6.13 神奈川国会行動

10:00～衆議院第二議員会館多目的会議室

《6月の主な行動・会議日程》

- 6月1日(金) 県社保協第12回常幹 14:00 建設プラザ3F会議室
- 6月3日(日) 神奈川建設労連第64回定期大会 10:30 伊東・ホテル聚楽(～6月4日)
- 6月4日(月) 県社保協・医療保険改善委員会 14:00 神商連3F会議室
- 6月5日(火) オスプレイ飛ばすな! 6.5首都圏行動 18:30 日比谷野外音楽堂
- 6月6日(水) 中央社保協運営委員会 13:30 医療労働会館2F会議室
- 6月8日(金) 県社保協第12回幹事会 14:00 保険医協会
- 6月9日(土) 川崎市社保協総会 13:30 川崎市総合自治会館会議室
相模原市社保協総会 13:30 相模原市総合学習センター会議室
- 6月10日(日) 神商連第63回総会 13:00 箱根路開雲
安倍内閣総辞職を求める国会正門前行動 14:00 国会周辺
- 6月13日(水) 神奈川国会行動 10:00 衆議院第二議員会館多目的会議室
- 6月15日(金) 「税と社会保障の一体改革反対」全県一斉宣伝行動(この日を中心に)
- 6月16日(土) 「サヨナラ安倍政権」大街頭宣伝行動 13:30 桜木町駅前
- 6月17日(日) 神奈川県保険医協会総会・懇親会 18:00 ペイシェラトン&タワーズ5F
- 6月20日(水) 通常国会会期末
- 6月21日(木) マイナンバー違憲訴訟口頭弁論 11:00 横浜地裁
75歳以上の医療費2倍化反対!! 6.21スタート県民集会 13:30 建設プラザ2Fホール
- 6月23日(土) 県社保協2018年度総会 13:30 神商連4Fホール
- 6月25日(月) 県社保協・介護保険改善委員会 14:00 民医連会議室
消費税廃止各界連定例宣伝行動 14:00 伊勢佐木町有隣堂前
- 6月27日(水) 年金違憲訴訟口頭弁論 14:00 東京地裁
- 6月28日(木) 医療費助成の拡充を!みんなのパレート2018 11:00 開港記念会館
- 7月1日(日) 横須賀市社保協総会 13:00 横須賀市産業交流プラザ会議室

「5.17 国会行動」全国から 178 人が参加！！

5 月 17 日に中央社保協・全日本民医連・全労連・首都圏社保協の共催で「5.17 国会行動」を衆議院議員会館で行いました。全国から 178 人が参加し、神奈川からは、民医連 10 人と県社保協 1 人が参加しました。開会挨拶後に、駆けつけた日本共産党の宮本岳志衆院議員、武田良介参院議員、国民民主党の下條みつ衆院議員から国会情勢報告があり、介護署名 10 万 290 筆（すでに提出分とあわせて 27 万 1,430 筆）と社会保障署名 26 万 9289 筆を手渡しました。神奈川からは、介護署名 1 万 6458 筆と社会保障署名 1 万 8419 筆を提出しました。参加者から取り組みの報告がされ、全日本民医連が手遅れ死亡事例調査について報告しました。



その後の議員要請行動では、神奈川民医連は立憲民主党の早稲田ゆき議員と直接面会。懇談する時間もとっていただき、介護職員の確保 と処遇改善、介護保険制度の問題について意見交換を行いました。とくに訪問介護の訪問回数上限の設定については、毎年の見直しで平均値が下がり、どんどん上限数を減らされる「悪魔のサイクル」に陥る可能性があります。今年 10 月からの開始を阻止するために、ぜひ働きかけてほしいと伝えました。また、現在介護職で働く職員より「ぜひ現場を見に来てください。介護職員の労働実態調査も行なうので結果を見て欲しい」と訴えがありました。早稲田議員からは、『現在厚労担当ではないが、党としてしっかりと考えていく。ぜひ労働実態調査の結果も教えてください。同じ神奈川の仲間としてこれからもいろいろとご意見ください』と力強く答えていただきました。＜神奈川民医連・介護ウェブ推進ニュースより転載＞

東京・日の出町の福祉施策に「カルチャー・ショック」

神奈川県社保協と神奈川県高齢期運動連絡会の共催で 5 月 22 日、「日本一お年寄りにやさしいまちづくり」をすすめる東京の日の出町を 17 人で視察しました。日の出町は、東京三多摩の奥に位置し過疎化が心配され人口は約 17,000 人で、高齢化率は 28%の町です。



この視察は、今年の 2.1 中央集会で「日の出町の高齢者施策について」の報告を聞き、「75 歳以上のお年寄りの医療費を無料にできるのは何故なのか」、「『日本一お年寄りにやさしい町づくり宣言』はオーバーではないか」、「税金をどのぐらい使っているのか」等々実際に訪ねて確かめようと計画されました。

当日は、横浜駅を 9 時に年金者組合員をはじめ保険医協会の方など 17 人がマイクロバスに乗車し日の出町に向かいました。車内で高齢期運動連絡会の大河原貞人事務局長が日の出町の「日本一お年寄りにやさしい町づくり宣言」について資料を用いて説明。参加者から「視察で何を期待したか」等の意見が出され、日の出町のふれあい総合福祉センターを見学。昼食をはさんで健康友の会「いこいの家」で、日の出町の折田町会議員、野口元町会議員、健康友の会秋川流域支部の影山支部長から、日の出町の高齢者と子育て支援策について説明をうけ、参加者は質問と感想を述べ交流を深めました。

帰りのバスでは参加者から「カルチャー・ショックをうけた」、「税金を町民のために使うという町長の姿勢に感動」、「どうすれば実現できるのかじっくり考えたい」等の感想と併せ「75 歳以上の医療費 2 倍化反対」、「後期高齢者保険料不服申請」の取り組みについての決意が述べられ、横浜駅で散会しました。＜6. 21 スタート県民集会で詳細報告します＞

<日の出町町会議員・折田眞知子さんたちの報告要旨>

町長の「お年よりにやさしい町づくり宣言」に町民は大歓迎

後期高齢者医療制度が発足した2008年9月の「敬老福祉大会」の場で、後期高齢者医療制度に不満を持っていた当時の町長が「永年にわたるお年寄りの献身的な尽力と努力に感謝し、日本一お年寄りにやさしい町づくりをすすめます」と、①75歳以上の医療費無料、②75歳になる方の人間ドック無料、③お年寄りの健康増進を図ると宣言し、参加者は驚きと喜びに沸いた。この宣言が実行に移され、さらに現在は70歳から74歳までの方の医療費助成（月2,000円以上）を2015年度から開始。不幸にして癌になった方（19歳以上）の医療費も無料に。また、60歳以上の高齢者の外出の足を確保するため4コースに分かれ「高齢者外出支援バス」を走らせている。

100歳までの長生きで合計39万円の敬老金

当初、100歳の長寿を祝い「敬老金」を支給していたが、いまは70歳から年齢ごとに10回支給する「元気に長生き奨励金」制度に変更した。この制度は多くの高齢者に歓迎され大好評。また、「温泉宅配サービス」と併せ福祉センター（4ヶ所）では入浴や歩行浴、カラオケ、体操なども行っており利用者が増加している。

「選ばれる町」づくりで人口減少に歯止め

日の出町の人口は、10年前15,000人台に落ち込み少子化と高齢化が進み過疎化が心配された。「選ばれる日の出町」、「日本一の福祉の町づくり」をめざし、始めたのが「子育てママさん100人委員会」。そして2005年に子どもの医療費を無料にし（現在は高校生まで）、15歳以下の子ども1人に月1万円の「次世代クーポン」を支給し、地元の商店での買い物や給食費、保育料の支払いに活用。現在人口は17,000人に、出生率も全国平均を大幅に上回り1.82に急上昇した。

医療費助成は町財政のたった1.3%程度

高齢者の医療費無料化・助成は健康診断を受けることが条件で、1人当たりの医療費は東京都の平均84万円に対して約20万円少ない67万円。75歳以上の医療費助成額は日の出町の決算額の1%程度。70歳から74歳の助成を加えても1.3%程度。

報告のあと参加者から質問し、以下の点も明らかになりました。

- 2008年当時、後期高齢者医療制度の導入に反対し、のぼり旗を立てハンドマイク宣伝や署名活動を行った。「日本の青空」という映画を上映し、岩手県沢内村の「医療費無料化」を町民に知らせた。町民の強い要望が町長の心を動かした。お金があったからできたわけではない。「税金は町民のためにつかう」という首長を町民と一緒に実現する運動が大事。
- 町長選挙で対立候補が「無駄づかい」と宣伝したが、住民の運動で相手候補に「公開質問状」を出して町民に知らせ「日本一お年寄りにやさしい町づくり」を継続させている。社保協などの自治体キャラバンや健康友の会、年金者組合、新婦人などが大きな役割を果たしている。
- 安心して高齢世帯が維持できており、1人暮らしの高齢者が16%と非常に少ない。
- 「がん治療の助成」を行ったことにより、特定健診の受診率は56%。私たちもびっくりしている。
- イオンモールを誘致し、その固定資産税が3億円。その相当額を子育て支援に回している。若者から高齢者まで「世代間の公平」を町民は実感できている。

<高齢期運動連絡会・大河原貞人事務局長より>



75歳以上の医療費2倍化反対!! 6.21 スタート県民集会

<日時> 6月21日（木）13:30～16:30

<会場> 建設プラザかながわ2Fホール

★記念講演「後期高齢者2割負担化を阻止する大運動の展開を」（仮題）

住江憲勇氏（全国保険医団体連合会会長）

★後期高齢者医療の不服審査請求の運動提起、東京・日の出町視察報告、交流、行動提起など

住民とともに活動を広げる体制確立!! 西湘地域社保協総

西湘地域社保協は、2001年1月の結成総会から数えて17年目の総会を、4月28日（土）に40名の参加で迎えることが出来ました。総会では事務局体制の弱体化で、西湘社保協の活動が一時期停滞したことから、一人事務局体制を見直し、新任の清水代表委員（障神奈連）を先頭に、小清水事務局次長（神奈川土建）・糸永事務局員（医療生協）の補強が確認されました。



そして、恒例になった第1部の学習会では、「ケアプランなかむら」管理者の中村さんに4年ぶりにお越しいただき、第7期を迎えた介護保険事業について、利用者の目線からお話を聞くことが出来ました。まず、自治体の保健師として住民に寄り添った仕事をされてきた経験から、今の介護保険で行われていることは、そもそも国・自治体の責任でしっかりとした体制を取って行くべきことと指摘。しかし現実には厳しく、利用者も涙することもあった。今回の介護報酬改定で進められているサービスの利用制限の実態も明らかにされました。そんな中でも、同じ思いで活動しているみなさんが持つ互助的な仕組みや、一緒に活動や事業を検討することも有用であると指摘されました。厳しい時だからこそ、みんなで知恵を出し合い、力も出し合おうと思えた学習会になりました。

第2部の総会冒頭に、県社保協の根本事務局長より情勢の特徴と当面の運動課題を分かりやすく、元気の出る問題提起をいただきました。事務局からは、県社保協の提起を受けた「後期高齢者医療保険料学習・相談会」や「神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員への要請」に新たに取り組み、西湘地域で存在感を示せる足がかりとなったことが報告されました。また、参加団体の多様な取り組みとも相乗効果を発揮でき、西湘地域の住民に寄り添い、住民とともに活動を広められるよう工夫していくことが確認されました。<西湘地域社保協・土屋茂樹事務局長より>

《神奈川県社保協 2018 年度総会》

[日時] 2018年6月23日（土）13:30～17:00

[会場] 神奈川県商工団体連合会(神商連)4階会議室

[議事] ★ 子ども医療の現状と医療費助成の拡充を
求める運動の展望（仮題）

藤田孝典氏(小児科医・保険医協会理事)

★ 県社保協の年度総括・2018年度方針提案
と論議

<総会出席要請>

代表委員選出団体（5名以上）、常幹・幹事選出団体
（複数名以上）、上記以外の団体（1名以上）

子どもと障害者

6.28 医療費助成の拡充を!! みんなのパレード2018

●11:00～11:45

医療費助成の拡充求めるつどい
<開港記念会館・第9会議室>

●12:00～12:30

みんなのパレード2018

★開港記念会館～横浜公園手前
～日本大通り～県庁前

●13:00～14:00

神奈川県への要請と懇談